



No.42 2020.3.25

明石市コミュニティ・スクールだより  
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

## コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

### 学校再開そして卒業式

3月3日から新型コロナウイルス感染症対応に伴い臨時休校園になっていた学校園が3月16日から再開されました。そして3月17日には中学校が、3月18日には幼稚園が、3月19日には養護学校が、そして3月23日には小学校がそれぞれ修了・卒業式を行うことができました。このような状況下ですが、それぞれの学校園では子どもたちの門出を祝う心のこもった工夫がされていたようです。また巣立っていく子どもたちも、ある学校では花道で送られた子どもたちが戻ってきてサプライズで先生や保護者に向けて感謝の言葉と歌を送ったと聞きます。子どもたちなりに工夫して打ち合わせをしながら、ぶっつけ本番だったようですが、これからの時代そうした力が求められてくるんだろうなとつくづくと思いました。



### 学びを主体的に継続していく力を育むために

今回の新型コロナウイルス感染症は学校の休校だけでなく、社会全体に様々な課題を投げかけています。正直まだ先が見えない状況で、社会が急激に動いているということを感じます。学校もその急激な動きの中で、これからの時代に即した進化をとげていけるかと問われているのだと思います。経済産業省の未来の教室が子どもの学習支援として立ち上げた「#学びを止めない未来の教室」の冒頭の緊急メッセージの中にこんな一文がありました。

#### 「学校が閉まっているからって、学びを止めないで済む」

そんな社会の実現に向けた挑戦だと、前向きに考えたらよいのではないのでしょうか。

これまでの「同じ年に生まれた人の集団で、みんなに同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、できあいの問いと答えを一斉に勉強させる」という学校システムであれば、学校に登校しない日は休みで、出された宿題をこなすという意識が普通です。これからの時代に求められている資質・能力を身につけていくベースになるのは学びを主体的に継続していく力なのではと思います。まさに社会全体で「未知なる課題に最善解」をつくっていく作業を行っている今、子どもたちに未知なる課題に立ち向かっていける力を身に付けていくためにも、子どもたちが自分の学びをデザインできる力を育むための仕組づくりを始めていくタイミングにきているのではと思います。

これまでの延長ではなく、これからの時代に即した進化ができる「社会に開かれた教育課程」は、社会全体でこれからの時代に求められている資質・能力を身につけていく社会システムをつくり、「生きることの喜び、人生を楽しむ、楽しめる力」を育み続けるまちをつくっていくことにつながっていくのだと考えています。それがコミュニティ・スクールのめざしているところだと考えます。そのための一歩を踏み出すための熟議を今、始める時がやってきているのだと考えます。

この1年コミュニティ・スクールの紹介等をおこなってきましたが、今号で今年度の最終号とさせていただきます。来年度は中学校への導入も始まります。小中の取組をどんどん紹介させていただけたらと思っています。参考になればと。

今年1年ありがとうございました。

(文責:北本)